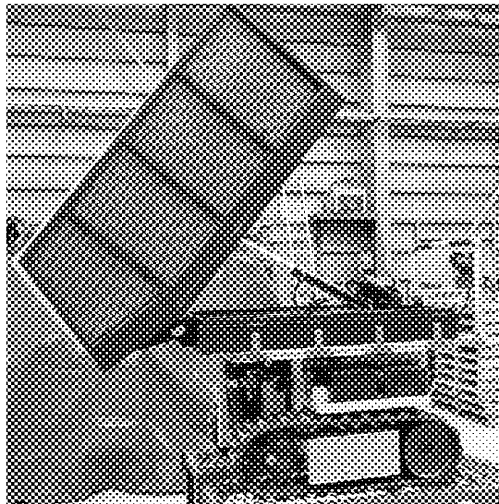


# 全天候型自律走行ロボ

## 不二鉦材資材搬送を無人化

不二鉦材（大阪市北区、水谷基泰社長）は、電動式全天候型自律走行ロボットダンプ「temmot（テモット）」を開発、受注を開始した。無線通信を使わずに周囲の環境を認識して屋内外、路面環境を問わず自律走行できる。建設現場において1輪車などで人力で行っていた資材搬送を無人化でき、深刻化している労働者不足に対応する。



テモットは電動クローによる手動走行や、人が1ラー式で防水規格IP44相当の耐久性を備える。高性能センサー「LiDAR（ライダー）」で通信機能を使わずに環境を認識して自律走行する。5ルートまで記憶できる。ジョイスティック操作に

全天候型自律走行ロボット「テモット」のダンプタイプ

約500万円から。機体サイズは幅0・6×長さ約1×高さ約1

現行機のダンプ操作はワイヤレスリモコンで行うが、ダンプ操作まで完全自律化できるソフトを今夏までに開発する。

焼却炉材商社の不二鉦材が築炉現場の資材搬送を効率化するため「知能を持ったねこぐるま（1輪車）」の開発を企画。電機商社のたけびし、ダンプ機構メーカーのヤマステック（千葉県東庄町）などと共同で開発した。メンテナンスはシヤープの全国家電修理網を活用できる体制を整えている。

全天候型自律走行ロボット「テモット」のダンプタイプ

約500万円から。機体サイズは幅0・6×長さ約1×高さ約1

現行機のダンプ操作はワイヤレスリモコンで行うが、ダンプ操作まで完全自律化できるソフトを今夏までに開発する。

焼却炉材商社の不二鉦材が築炉現場の資材搬送を効率化するため「知能を持ったねこぐるま（1輪車）」の開発を企画。電機商社のたけびし、ダンプ機構メーカーのヤマステック（千葉県東庄町）などと共同で開発した。メンテナンスはシヤープの全国家電修理網を活用できる体制を整えている。